

薬物に対する一人一人の責任

広島市立庚午中学校 2年 織田 莉子



私は、母にこんなことを聞いたことがあります。

「お酒は、おいしいの？」

すると、母は、教えてくれました。

「お酒はおいしいけど、飲み過ぎたら体によくないの。あと、これだけは覚えておいて、たとえば、りこが大きくなって、友達や仕事仲間と食事の場でお酒を飲むことがあると思うんだけど、そのとき、りこがビールをたのんだとするね。そのビールを飲みかけのままトイレに行ったら、最悪の場合どうなると思う？」。

その質問がきたとき、私は全然そのあと何が起こるのか全く想像もつきませんでした。

「わからない。」

と答えると、母は、教えてくれました。

「りこがトイレに行っている間、友達か仕事仲間の中に違法なことをしている人が、もしいたら、トイレに行っている間に、危険な薬物や麻薬を入れられる可能性がある。だから将来お酒を飲むようになったら、注意はしっかりしなくてはいけないよ。それを防ぐには席を立つ前には、グラスの中をからにしていくことが一番大切。よく覚えておいて。」

と言われ、私は、思ってもみなかった話に、少しびっくりしてしまいました。ちょっとした隙にそんな危険もあるなんてとても怖いなと思いました。

学校の保健の授業で薬物乱用について勉強しました。未成年が大人の誘いや友達からの誘いで、好奇心を持ち、危険なドラッグに手を出して、授業中も寝て、虫が見えたり、水が欲しいと何度も言ったりするビデオを見ました。見たとき、全身に鳥肌が立ちました。未成年が薬物を使用すると、依存したりするのでとても怖いと思いました。他にも、妊娠中のお母さんが薬物を使用すると産まれてくる赤ちゃんにも影響があることを勉強しました。自分が楽になりたいからといって、なんにも罪のない、新しい命まで、傷つけるのはおかしいのではないかと思いました。

これらの、薬物乱用を防ぐには、一人一人が責任ある行動を取ることが大切だと思いました。それには、三つの大切なことがあると思います。

一つ目は、人に染まらないことだと思います。友達もしているからなどといった、人がやっているから私もやるなど、人は人、自分は自分、薬物をしてつかまると、一番つらいのは、自分や家族だと思うからです。迷惑をかけてまで、

すべきことなのか、きちんと考えることが大切だと思います。

二つ目は、自分で判断することだと思います。社会人としてや、未成年でもここまで育ててくれて大きくなったことや色んなことをふまえて、自分がどうすべきかきちんと考え、悪いことにならないように自分で判断するのが大切だと思います。

三つ目は、悪いことをしている友達や親友には、きちんといけないことだと、はっきりと言えることだと思います。いくら仲のいい友達でもしていることは犯罪なので、友達ならきちんと、言うことが一番大切だし、その人の将来にも関わることだから大切だと思います。

三つから、私は、犯罪というものは、いつどこで巻き込まれるかわかりません。そのために、すこしでも自分で犯罪に巻き込まれないように、日頃からの意識がとても重要だと思いました。

自分が目標を持ったり楽しいことをたくさんできるようにすると、薬物などに手を出さず、自分らしく生きていけるようになると思います。

私は、学校の授業や母に教えてもらったことを絶対に忘れず、自分の目標を持って、人に染まらず、自分で判断のできる人になりたいと心から思いました。